



テント倉庫を建てるまで

今号よりテント倉庫施工までの道のりを前号のフローチャートをもとに進めていきます。
今回はお見積りご提出までを円滑に進めるために必要な情報についてお伝えします。

詳細打合せ＋採寸

概算お見積りでテント倉庫にご興味をお持ちいただけただけの場合、次工程としてお客様のお使いになる状況や、既設の建物の情報の打合せ、実際に建設予定地への訪問、現地調査へと進行致します。

建設予定倉庫の用途

概算見積りの段階で頂いている施工内容を下地に、さらに深掘した打合せが必要になります。
倉庫内で保管される物の確認、テント倉庫内に必要な各設備（電気、水道）、保管用途に沿った土間の形状、防災関連の設備等、実際にお使いになる際に必要な設備内容の打合せを行いながら、建設予定地の都市計画法や防火区域、予定地にすでに既設の建物がある場合は申請図書一式など、建築確認申請を行う際に必要となる内容の確認も致します。

建設予定地の実測

建設予定地の現地調査を行います。
ご希望に沿った形での配置が可能か、すでに既設建屋がある場合は、新設建屋が建築確認申請上、適正配置なのかや、工事にあたって重機の搬入や足場の設置が可能か等、施工環境に問題がないかの確認を行います。
また、地盤調査や建設予定地のレベル調査も行います。

本工程からは、実際に建てることを前提とした内容での打合せに入っております。
建築確認申請を出すにあたり、かなり込み入った内容をお聞きする形になると思います。
以降の段階ですと修正のご対応が厳しくなる場合もございますのでこのタイミングで可能な限り情報を頂きたいです。必要な内容に関しては当社担当からご相談致しますのでご安心ください。